

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成27年2月19日(2015.2.19)

【公表番号】特表2014-508455(P2014-508455A)

【公表日】平成26年4月3日(2014.4.3)

【年通号数】公開・登録公報2014-017

【出願番号】特願2013-550971(P2013-550971)

【国際特許分類】

H 04 N 5/262 (2006.01)

G 06 T 7/20 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/262

G 06 T 7/20 B

【手続補正書】

【提出日】平成26年12月24日(2014.12.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも2つのビデオ・シーケンスにおいて異なる時間に得られた異なるオブジェクト又は同一のオブジェクトの動きを分析するための装置であって、

前記少なくとも2つのビデオ・シーケンスのうちの第1ビデオ・シーケンスの個々のフレームにおける前記オブジェクトの動きベクトルを計算するための動き推定器、

前記第1ビデオ・シーケンスのフレーム・レートをアップ・スケーリングするために、計算された前記動きベクトルに基づいて、中間フレームを生成して、前記第1ビデオ・シーケンスに挿入するフレーム補間器、及び

前記アップ・スケーリングされた第1ビデオ・シーケンスのフレームと前記少なくとも2つのビデオ・シーケンスのうちの第2ビデオ・シーケンスのフレームとの空間的及び時間的なアライメントを実行するためのフレーム・アライナ、  
を有する装置。

【請求項2】

前記少なくとも1つのオブジェクトの前記動きを視覚化するためのビジュアライザをさらに有する、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記装置により処理された前記第1及び第2ビデオ・シーケンスのオブジェクトの動きの差異を含む第3ビデオ・シーケンスを生成するためのビデオ生成器をさらに有する、請求項1又は請求項2に記載の装置。

【請求項4】

前記ビジュアライザが、動きの方向、動きの大きさ及び加速度のうちの少なくとも1つに関する情報を追加することによって、前記オブジェクトの前記動きを視覚化する、請求項2に記載の装置。

【請求項5】

前記ビジュアライザが色符号化として前記情報を追加する、請求項4に記載の装置。

【請求項6】

前記ビジュアライザが、前記第1及び第2ビデオ・シーケンス中の予め定められた関心

のあるオブジェクトを検出する、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の装置を有する表示装置。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の表示装置を有するゲーム機。

【請求項 9】

少なくとも 2 つのビデオ・シーケンスにおいて異なる時間に得られた異なるオブジェクト又は同一のオブジェクトの動きを分析するための方法であって、

前記少なくとも 2 つのビデオ・シーケンスのうちの第1ビデオ・シーケンスの個々のフレームにおける前記オブジェクトの動きベクトルを計算し、

前記第1ビデオ・シーケンスのフレーム・レートをアップ・スケーリングするために、計算された前記動きベクトルに基づいて、中間フレームを生成して、前記第1ビデオ・シーケンスに挿入し、

前記第 1 ビデオ・シーケンスのフレームと前記少なくとも 2 つのビデオ・シーケンスのうちの第 2 ビデオ・シーケンスのフレームとの空間的及び時間的なアライメントを実行する、方法。

【請求項 10】

コンピュータ上で実行されたときに当該コンピュータに請求項 9 に記載の方法を実行させるコンピュータ・プログラム。